

2009年6月9日
<各位>

News release

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
ビットワレット株式会社

10月より、セブン-イレブン全店で 電子マネー“Edy”をご利用いただけるようになります

～「nanaco」に、“Edy”を追加することで、電子マネー利用率を高めていきます～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役会長 最高経営責任者<CEO>:鈴木 敏文)傘下の株式会社セブン-イレブン・ジャパン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>:井阪 隆一)と、ビットワレット株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:眞鍋 マリオ)は、2009年10月より全国のセブン-イレブン 12,323店舗(2009年5月末現在)で、ビットワレットが運営する電子マネー“Edy(エディ)”を導入することに合意いたしました。

これにより、全国のセブン-イレブンの店頭で“Edy”によるお支払い、“Edy”のチャージ(入金)がご利用いただけます。

セブン-イレブンでは、お客様のニーズ・時代の変化に対応し、お客様の楽しく便利な生活シーンをサポートすることを目的に独自電子マネー「nanaco」を展開しておりますが、このたび、発行枚数最大の電子マネー“Edy”を導入することで、「nanaco」との相乗効果によりセブン-イレブンでの電子マネー利用率がいっそう高まることを期待しております。

電子マネー利用率を高めることで、店舗での現金のハンドリングコストだけでなく、店頭オペレーション業務の効率化を図ってまいります。少子高齢化が進む今後の日本において、高齢者スタッフ、あるいは外国人スタッフに店舗運営を任せる機会も多くなることを想定しており、電子マネーを積極的に活用してまいります。

セブン&アイ HLDGS.では、電子マネー導入により、お客様へ利便性をご提供するにとどまらず、流通業界における新しい“プラットフォーム”としての電子マネーの様々な活用の可能性に、今後も積極的に挑戦してまいります。

今回のセブン-イレブンでのEdy導入により、電子マネーが“陣営”を越えてどこでも使えるようになる本格的な普及期に入ります。電子マネー利用者が増え、電子マネーがさらに多くのお客様にとって身近なものになっていきます。セブン&アイ HLDGS.とビットワレットは、これからも日本が電子マネー先進国であり続けるよう、電子マネーの普及・拡大に向け協力して取り組んでまいります。

*“Edy(エディ)”は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

*「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

以上

ご参考

<Edy基礎情報> (2009年5月現在)

Edy機能搭載のカード・携帯電話(おサイフケータイ)等の累計発行数:約4,840万枚
(内おサイフケータイ台数 約930万台)

Edy利用可能箇所:約132,000ヶ所、約8,400サイト

<nanaco基礎情報> (2009年4月末現在)

nanacoカード等の累計発行数:約777万枚

nanaco加盟店舗: グループ内 13,054店

グループ外 10,419店

<セブン-イレブン国内都道府県別店舗数> (2009年5月現在)

